

第1回プロジェクト会議 プロジェクトのはじまり

令和元年度第3回生田緑地マネジメント会議において、ばら苑プロジェクト会議の立ち上げが承認されました。この会議では、ばら苑の価値、ばら苑の活用方法等、生田緑地の価値を高めるための意見交換等を行い、これからのばら苑について考えていきます。

(1) 会議の日程

日時：2020（令和元）年1月9日（金）16：00～17：30

場所：生田緑地整備事務所

参加者：11名

内容：これからの進め方について話し合いました。

(2) この会議のルール

- 生田緑地整備のフローチャートにそって進めるための、生田緑地マネジメント会議内に設置された話し合いの場である。
- 参加者は、より良いばら苑整備のために、お互いに協力しあうための場として参加をし、議論が良い方向に向かうよう最善を尽くす気持ちで発言をする。
- 行政の担当者は、自分の発言に各部署の立場としての責任を追及されるべきではない。
- 参加者は、本プロジェクト内で得られた情報で、一般に公開されていないものについて、不用意に他の場で発言してはならない。

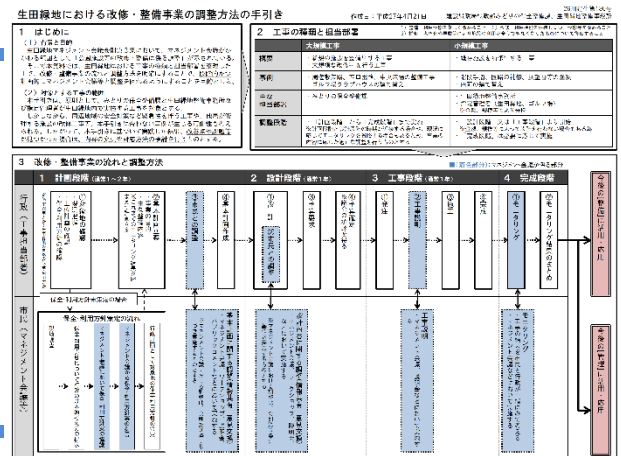
(3) 会議の報告

- 現状報告⇒2019（令和元）年度のばら苑に関する取組（基礎的なインフラ情報の整理、平3丁目側からの通路の状況を確認（この道は、世界らん展の時に閉鎖されたという意見有り）。
- ばら苑整備に向けたスケジュール確認（あくまでも想定）⇒小田急電鉄の跡地開発、川崎市の総合計画とばら苑整備など関連事業のスケジュールを確認した。
- ばら苑の維持管理について⇒市から委託を請けている。ばら苑の維持、開園期間中の対応が主な業務。バラの栽培については、ボランティアの協力を得ている。（公財）日本バラ会のアドバイスも受けている。などなど。
- 自由討議⇒ばら苑のビジョンが見えない。会員が知っている他のばら園の情報提供。などなど。
- 今後に向けて⇒年度内はいろいろな情報を集める、勉強をする。良い提案にむけてのウォームアップ。などなど。

次回の日程 2020（令和2）年2月7日（金）生田緑地整備事務所

主な内容⇒基礎的な内容。

情報提供（ばら苑ボランティアについて、他都市のバラ園について、などなど）



第2回プロジェクト会議 勉強のはじまり

このプロジェクト会議をどう進めるか等、第1回に引き続き意見をかわしました。ばら苑ボランティアからの報告や他都市のばら苑を知っている会員からの報告など自由なトークを繰り広げました。

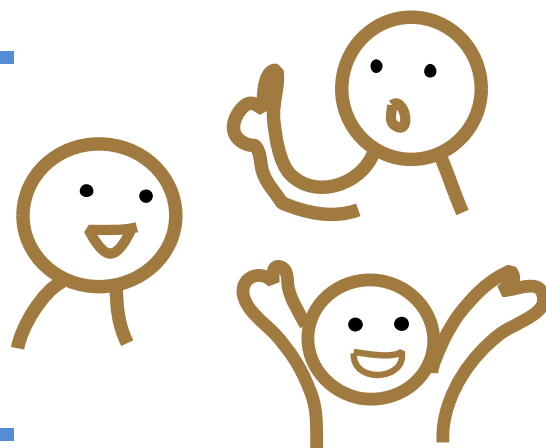
(1) 会議の日程

日時：2020（令和2）年2月7日（金）10：00～12：00

場所：生田緑地整備事務所

参加者：12名

内容：今後の会議に向けて基礎的な勉強を行いました。

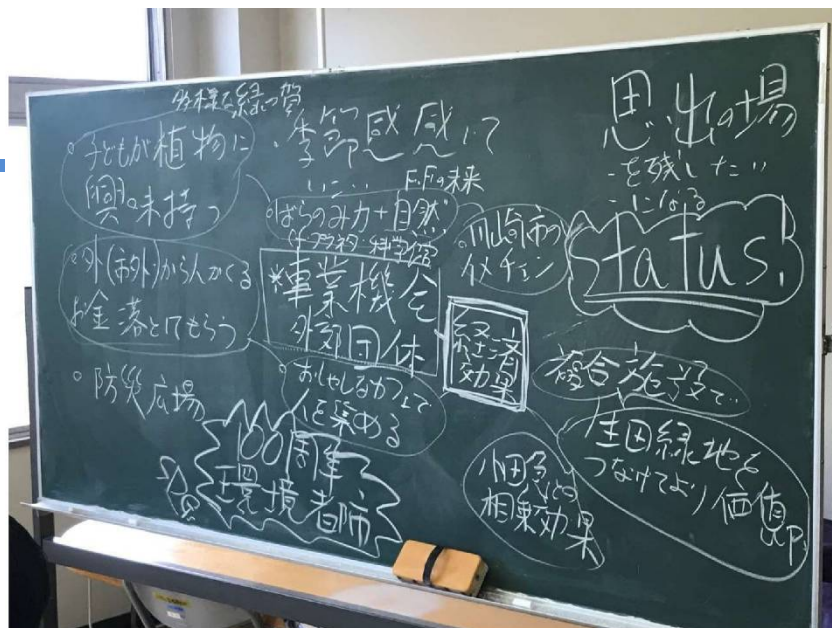


(2) 基礎的な勉強

- 川崎市の総合計画や実施計画について説明。
- ばら苑ボランティアの活動内容について説明。
- 他都市のバラ園の概要の説明。
- 提言書について⇒参加している会員はばら苑についてそれぞれの思いがある。市にそのことを伝えるのであれば提言書にまとめることができる。
- 近くのバラ園に見学に行こう。

(3) ばら苑の思いの共有

各自が思うばら苑について意見出しを行った。黒板に書ききれなかった言葉には、南部と北部の違い、経済効果と市民にとってのステイタスシンボル。１００周年の環境都市としての川崎をアピール。ＳＤＧｓの取り組み。などなどが挙げられました。



次回の日程 3月17日（火）東京都神代植物公園見学

主要内容⇒勉強会。

生田緑地のばら苑との違いを見てみよう。

第3回プロジェクト会議 神代植物公園見学

倉本先生のご紹介により、神代植物公園の見学ができました。当日は現地集合で、園を管理している東京都公園協会の職員の方からばら苑の管理や魅力などの説明を受けました。東京都公園協会の方々に感謝です。

(1) 見学の日程

日時：2020（令和2）年3月17日（火）14：00～16：00

場所：東京都神代植物公園

参加者：11名

内容：しっかり、神代植物公園を見学しました。



(2) 神代植物公園のバラ園見学



東京都公園協会の職員が、丁寧に説明してくださいました。参加者も興味深くバラ園をみながら職員の方に質問を投げかけながらおだやかな見学となりました。以下職員の説明の一部をまとめたものです。

- 管理は、東京都から特命で（公財）東京都公園協会が指定管理を受けている。
- 昭和37年開園。3つのばら苑。野生種オールドローズ園。ジャパンローズコンテストの入賞花園など。
- 1. 2ha。407種。サンクガーデン。外側にオールドローズを置いて花数を見せ内側にハイブリッドローズで豪華に演出。
- 維持管理は委託業者。公園協会は発注・監督業務。バラ園のボランティアはいない。ボランティアは園内ガイドボランティア、森づくりボランティア、ドッグランのボランティア。
- 古い品種の維持がコンセプト。
- 消毒は年25回程度。休園日に行うので特に周囲に告知していない。
開花時期は毎週散布することもある。
- 他園との情報交換は京成バラ園主催のバラ園サミットに参加。
- ばらの展示方法としては、上から見るものとしたから見るものがある。最近はベッド仕立ては減っている。
- ベンチは多く配置しているが、バラが咲いている時期は、座る場所がないと怒られる（高齢者が多い）。
- バラが咲いている時期は、多いときで1日1万5千人程度来園。
- 鑑賞の注意事項は、シートを敷くのはやめてもらっている。三脚を立てるのもやめてもらっている。
- 屋根付きテラスを利用してコンサート。屋根の中には観客。演奏者はバラ園を背景に。



以上簡単ではありますが、見学記とさせていただきます。この見学をもとに次の会議はさまざまな意見がでることを期待しています。

次回の日程 5月15日（金） 東口ビジターセンター+Zoom

主な内容⇒勉強会。

ばら苑に関係する整備について、ばら苑の現状などなど。



第4回プロジェクト会議 具体的な内容の検討

コロナ禍の中でZoomを活用した会議を行いました。会議場所は、東口ビジターセンターで行い、自宅PC等を活用し活発な議論が行われました。

(1) 見学の日程

日時：2020（令和2）年5月15日（金）9：30～11：30

場所：東口ビジターセンター＋Zoom

参加者：10名

内容

神代植物公園を見学し、これからのばら苑に向けて具体的な話し合いをおこないました。また、この会議の結果を提言書に取りまとめることも決まりました。

(2) 会議内容の報告



【ばら苑について】

- 通年開放は難しい。
 - 通年開放というが、バラが咲いていない時はどうするの。
 - ローズガーデンハウスは建て替えた方がよい。
- などなど

【ばら苑の整備について】

- 平ら3丁目側から通路の整備を検討している。
 - 令和2年度の業務計画の説明（生田緑地の保全利用方針、通路整備の基本計画案の作成など）
- などなど

【みんなの感想】

- ばら苑の整備については長期的に考えていく必要がある。
 - 広場＋樹林＋ばら苑の相乗効果。
 - 新しいローズガーデンハウス。ボランティアの拠点としても。
 - BBQ場の匂いが心配。
 - アクセスをよくする。
- などなど

【今後の予定】

- 引き続きばら苑アクセスの検討、
- 提言書内容を運営会議に諮る時期等。
- 引き続き、ばら苑整備の内容を精査。

車両のアクセスが可能な場所は？



次回の日程 6月19日（金）生田緑地整備事務所（ばら苑ローズガーデンハウスに変更）
主な内容⇒ばら苑を見ながら会議を行いましょう。内容を煮詰めていこう。

第5回プロジェクト会議
雨のローズガーデンハウスで会議

みどりの企画管理課及び（公財）川崎市公園緑地協会のご協力により、ローズガーデンハウスで会議を行うことができました。あいにくの雨の中、ばら苑見学を想定し、東口ビクターセンターに集合し、雨の中ばら苑まで歩きました。

(1) 会議の概要

日時：2020（令和2）年6月19日（金）9：30～11：30
場所：生田緑地ばら苑ローズガーデンハウス
参加者：12名
内容：ばら苑を見学して発想を広げよう。



(2) 会議の内容

【資料の説明】

- 小田急電鉄の開発計画の内容の確認を行いました。
- 第4回のPJ会議の前にいただいた意見のまとめを確認しました。などなど。

【提言書について（内容及びスケジュール等）】

- 提言書はみんなの思いをまとめたもの。これを市に届ける。
- 年度内で仕上げたい。運営会議には第2回、3回と2回分の会議で議題としてあげたい。全体会での内容承認が理想。などなど。

【ばら苑ボランティアの活動内容の説明】

- コロナの影響で4月7日から活動休止。6月2日から活動再開。
- ローズマップはボランティアが作った。本数、株数はボランティア有志が確認。
- 除草、シュート処理、花ガラ取り、切り戻しの作業を行っている。など

【テーマの決定・前回のたたき台を踏まえての整理】

- ローズガーデンハウスは老朽化している。建て直す必要がある。小田急の工事と一緒にやれば工事はやりやすい（ばら苑整備も）。
- もっと大きな視点で話すべき。いま話あっているので具体的な内容。
- マネジメント会議の試みは、計画段階前に良心的に話会う。現場を知っている人に相談して計画を動か。生田緑地は市民が作り上げていく。
- 総合計画の位置づけもあるが、多摩区の観光の観点で大きなシンポジウムを開くとか。
- みんなの思いを提言書にまとめる。また、大規模化、現状維持、お客さん目線、ボランティア目線など、その位置づけ早く決めるべき。

●宿題1：ローズガーデンハウスは、1958（昭和33）年に建築確認申請を行ったので、だいたい築60年以上経過しています。



●宿題2：ばら苑の区域は、2011（平成23）年度に都市公園の告示を行いました。

次回の日程 7月13日（月）生田緑地整備事務所
主な内容⇒第5回の続き、白地図への書き込み、全体的な方針案など。
他都市のばら苑の動向（民間、公営を含めて）。

さまざまな思い、意見がたくさんでています。
これから会議で煮詰めて